

令和7年8月14日

令和7年度病害虫防除技術情報（第3号）

和歌山県農作物病害虫防除所

カンキツのミカンハダニおよびチャノキイロアザミウマの発生に注意しましょう

ミカンハダニ(写真1) およびチャノキイロアザミウマ(写真2)の発生が多いため、必要に応じて防除を行いましょう。

1. 対象作物：カンキツ
2. 対象地域：県内全域
3. 発生量：ミカンハダニ 多
チャノキイロアザミウマ やや多
4. 発生状況・防除上の注意事項：

〈ミカンハダニ〉

・発生状況

県内カンキツほ場における7月の発生ほ場率は73%(平成24.1%)、100葉当たり寄生虫数は141頭(平成22.4頭)であった(図1)。

・防除上の注意事項

- 1) 多発すると防除が困難になるため、密度が高まる前に防除を行う。
- 2) 薬剤は葉裏にも十分薬液がかかるように散布する。
- 3) 薬剤抵抗性の発達を遅らせるため、同一系統の殺ダニ剤は年間に2回以上使用しない。
- 4) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。

〈チャノキイロアザミウマ〉

・発生状況

県内カンキツほ場における7月の発生ほ場率は11%(平成0.5%)、寄生果率は0.8%(平成0.0%)であった(図2)。

・防除上の注意事項

- 1) 発生ほ場およびイヌマキやサンゴジュに隣接するほ場では防除を徹底する。
- 2) 防除薬剤は最新の登録情報（農林水産省 農薬登録情報提供システム <https://pesticide.maff.go.jp/>）を参照し、適正に使用する。



写真1 ミカンハダニ雌成虫および被害葉



写真2 チャノキイロアザミウマ成虫および被害果

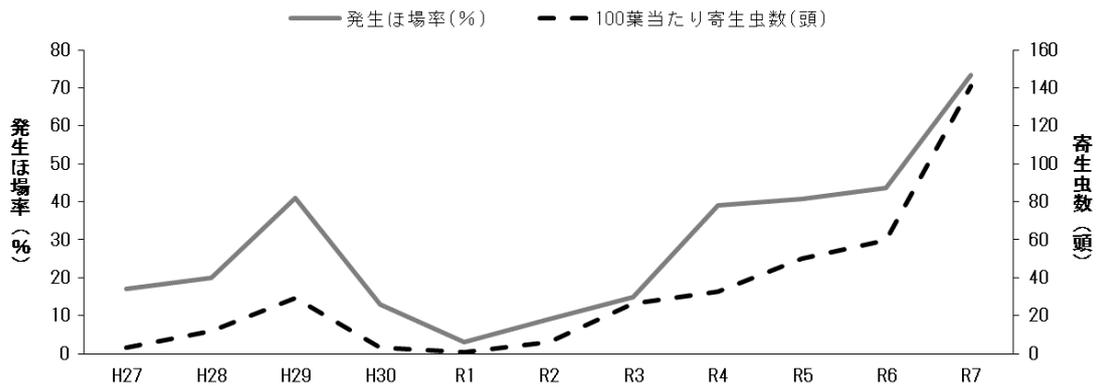


図1 ミカンハダニの発生の推移
(調査ほ場数：H27～R2は65、R3～R7は64 調査時期：7月)

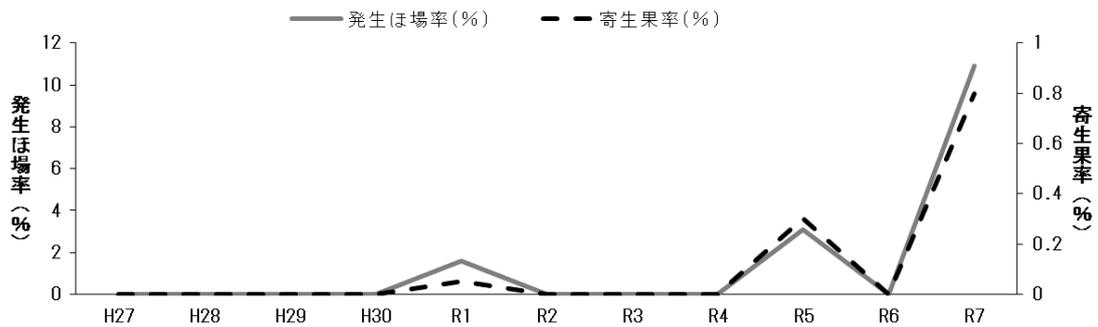


図2 チャノキイロアザミウマの発生の推移
(調査ほ場数：H27～R2は65、R3～R7は64 調査時期：7月)

担当：農作物病虫害防除所 有田川駐在
電話：0737(52)4320